

すべての業務とつながるひろがる

# 奉行クラウド 導入事例

お客様名

ジー・オー・ピー株式会社 様

導入製品

給与奉行クラウド



給与奉行クラウドで企業と社労士、税理士がつながる  
外部専門家の力をフルに活用することで見えてきた  
“社外人事部”によるこれからの労務管理体制



給与計算システム

給与奉行クラウド<sup>®</sup>

## 🔍 導入事例のみどころ

01

検討のきっかけと  
導入の決め手

従業員と専門家とのやりとりに課題。従業員だけでなく専門家とのやりとりをデジタル化でき、つながることのできるクラウドを選定。

02

やりとりの削減

勤怠集計から給与明細配付までの時間を5日間削減することに成功。社会保険労務士・税理士の計算・チェックも並行して行えるようになった。

03

リスク軽減

センシティブな個人情報管理から解放。給与計算に対しリアルタイムに社労士がチェックを行うことで、リスクを未然に防げる体制に。

04

今後の展望

給与業務が多様化、複雑化するなかで、専門家は頼れる“社外人事部”。専門家とより深く結びつくことで、確実に業務を遂行できる管理部を作っていく。

# 01

## 企業と従業員、専門家同士のやりとり省力化が課題 クラウドによるデジタル化が解決の糸口だった

### 検討の きっかけと 導入の 決め手

ジー・オー・ピー株式会社は建設用仮設資材の開発、製造およびレンタル、販売、ケータリングを手がける。実用性とデザイン性を兼ね備えた建設用仮設資材は大手ゼネコンを中心に高い評判を得て、同社は業容を拡大させてきた。

そんな同社の経営方針は「省力化と売上の拡大を同時に両立させていくこと」。つまり、業務の無駄を省き、人員を増やさずとも売上を伸ばせる体制を作るという考えである。同社管理部部长の越後和実氏が語る。

「ここ数年売上は右肩上がりに伸びてきました。しかし、管理部のメンバーに増員はありません。これからもこの体制は変わらないでしょう。こうしたなか、管理部におけるさらなる省力化がテーマとなっていたんです」

省力化を図るうえで同社は二つの課題を抱えていた。

一つ目は従業員とのやりとりだ。勤怠管理がシステム化されていなかったため、給与計算の前に紙のタイムカードと勤怠届出書の回収が必要だった。また、給与



新大和税理士法人  
 柳澤 伸氏

明細書や年末調整申告書も紙でやりとりをしていた。特に遠隔拠点（新木場、東金）の従業員とのやりとりには多くの手間と時間を要していたのである。

二つ目は専門家同士のやりとりだ。同社は給与計算と年末調整を専門家に委託していた。そのなかで、アウル社会保険労務士法人代表社員の沖利彦氏

と新大和税理士法人の柳澤伸氏は同じ給与ソフトを使って処理を行う。両者はバックアップデータをメールやクラウドストレージ上でやりとりしていたため、最新データがわからなくなり、古いデータを更新してしまうなどのミスが生じていた。

こうしたなかで、この二つの課題を同時に解決する策が給与奉行クラウドだった。

まず、従業員とのやりとりをクラウド上で完結できることが決め手になった。

「奉行ならば勤怠管理から給与計算、年末調整申告まで一気通貫でデジタル化が可能です。書類が一掃されることに加えて、負荷の高い従業員とのやりとりを削減できます」(越後氏)

そして、企業を軸に税理士と社労士がつながることもできる。「専門家ライセンスを備えているため、給与奉行クラウドは三者をつなぐための最適解」と越後氏は言う。

さらに、IT選定に携わった柳澤氏によると、パフォーマンスも決め手の一つになったという。

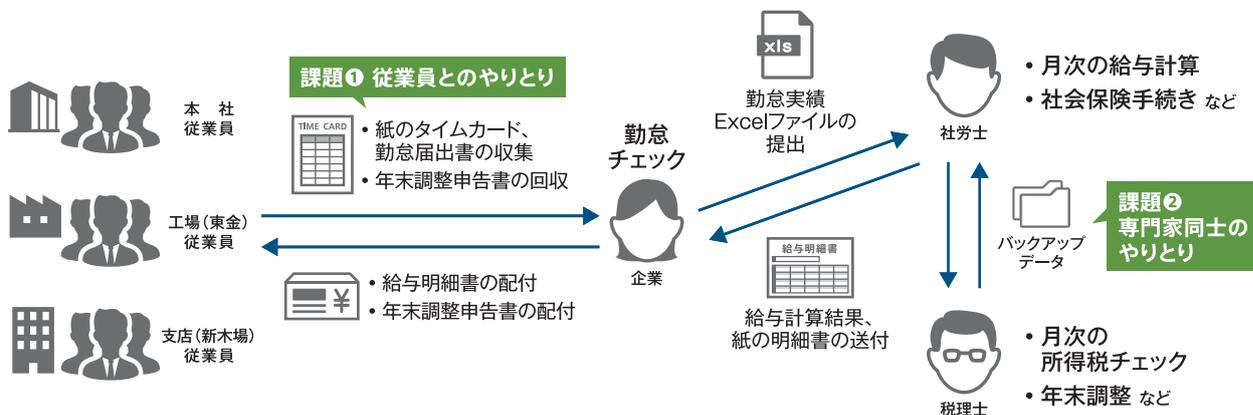
「給与奉行クラウドはデータがクラウドに格納されていることに加えて、アプリケーションをパソコンにインストールするタイプだからパフォーマンスが高い。ほかのクラウド製品はブラウザで動かすのが主流ですからね」



ジー・オー・ピー株式会社  
 管理部部长  
 越後 和実氏

### 企業と従業員、専門家同士のやりとりに課題があった

#### 奉行クラウド導入前



# 02

## 給与計算前後の業務時間が5日間削減 専門家同士の連携もスムーズに

### やりとりの削減

省力化を図るうえで課題となっていた従業員とのやりとりはどのように変化したのか。

勤怠管理をクラウドにしたことで、現在はスマホまたはパソコンで打刻を行うようになり、タイムカードを廃止。エクセルでタイムカードを集計する手間はなくなった。

「おかげで勤怠締めまでの時間を2日間削減できており、今では時間的余裕を持って給与計算を進められています」(越後氏)

さらに、面倒な給与明細の印刷・封入・送付は給与明細電子化クラウドを活用することで大幅な省力化に成功した。従来は、社労士の沖氏が給与明細を越後氏に送付。その後、越後氏が黙々と封入作業を行い、各事業所に送付していた。

「システムを入れただけで、給与明細の封入・送付作業に要する時間が3日からゼロになった」と越後氏は言う。



アウル社会保険労務士法人  
代表社員  
沖 利彦氏

同社は末締め翌15日払い。しかし、12月は年末年始の長期休暇のため給与計算の時間的余裕がない。そのため、12月のみイレギュラーで締め日を25日に繰り上げていたが、現在は通常月と同様の処理ができていているという。

次に専門家同士のやりとりの変化について見ていこう。新大和税理士法人の柳澤氏が語る。

「以前は、給与データを得るために沖先生に都度問い合わせなければなりませんでした。もし出張などで不在の場合は給与データを得るのに2~3日かかってしまうことも。

実は月次税務監査における給与関連のチェック事項は案外多いものです。例えば、社員の扶養異動や源泉徴収・住民税特別徴収額の変動、納付状況チェック、法定福利費事業主負担分の計上金額の確認、法人税計算における事前確定届出給与の支給状況チェック、所得拡大促進税制の適用可否など…。これらのチェックには給与データが必須ですが、現在は自らクラウドでそれらの過去7期分と最新データにいつでもアクセスできるようになったため、監査業務をスムーズに進められています」

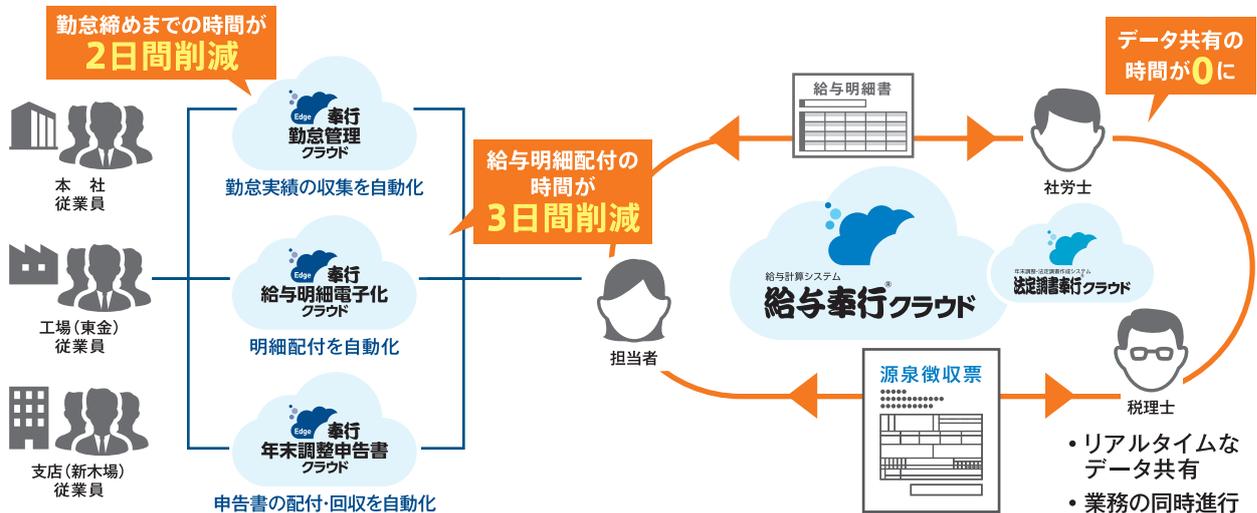
またクラウド化によって、前述したような「バックアップデータをメールやクラウドストレージ上でやりとりしていたため、最新データがわからなくなり、古いデータを更新してしまうなどのミス」はなくなったという。そのため、手戻りがほとんど発生せずに毎月正確に締められるようになった。

ところで、年末調整申告についてはどうか。

「これまでは法定調書を作成するにあたり、データを別のソフトにCSVでエクスポートしなければなりませんでした。しかし、現在は法定調書奉行クラウドを連携させることで電子申告まで一気通貫でできるようになりました。不便だと感じていたことの多くをクラウド化するだけで解決できています」(柳澤氏)

### クラウドですべてのやりとりのデジタル化に成功

#### 奉行クラウド導入後



## 03

クラウドによって手に入る強固なセキュリティ環境  
潜在的なリスクも専門家の目ならキャッチできるリスクの  
軽減

顧問社労士の沖氏は、給与奉行クラウドには業務時間削減効果のほかに二つのメリットがあるという。

一つ目がセキュリティ対策だ。マイナンバーが必須となるなか、給与のような個人情報は厳格に管理する必要がある。

「企業だけでなく社労士にとっても、個人情報管理の手間や心理的負担はかなり大きいものなんです。事務所のパソコンではなくクラウドにセンシティブな情報を格納できるのはありがたいですね」(沖氏)

二つ目がリスクの軽減だ。給与計算は細かい規定が多いため、担当者は意図せず間違いを犯していることもある。月額変更がその一例だろう。

「月額変更の処理は昇給があった月から起算するのではなく、支給月で試算するのですが、多くの企業が勘違いをしています。例えば4月に昇給がある場合、その給与支給が5月であれば、5月～7月の期間で標準報酬を計算するのが正しい。しかし、4月～6月で試算してしまっている例が多いですね」(沖氏)

このようなミスは労務トラブルのもとになりかねない。だからこそ、クラウドで社労士とつながることが必要だ。

「リアルタイムに社労士がチェックを行うことで、リスクを未然に防ぐことができるわけです」(沖氏)

柳澤氏は税務リスクの軽減についてもクラウド化の価値は大きいと語る。

「定期的に源泉徴収額に誤りがないかチェックしていますが、この作業を自社で行うには限界があります。外部専門家の目で見ないと間違いに気づけないことが多いんです。クラウドで税理士とつながることで、潜んでいる税務リスクを事前に取り除けるわけです」

総務経理のプロフェッショナル人材を抱えている中小企業は少ない。だが、企業経営においてこうしたリスクはつきものであり、専門知識を駆使して適切に対処していく必要がある。

「専門知識を持つ人材を社内で育成するのも一案でしょう。しかし、そんな余裕のある中小企業はそれほど多くないはず。情報漏洩問題や年々複雑化する業務に対応するために外部専門家を活用するのも選択肢としてあっていいのではないのでしょうか。幸い、クラウドにするだけで外部専門家と容易につながれますからね」(沖氏)

今後の  
展望クラウドが築く“社外人事部”体制  
専門家と企業の協働が労務管理のあるべき姿

右肩上がりで売上は拡大しているが、管理部の人員増は見込めない。こうしたなか、省力化の要請のもと、限られた人数で給与業務を行っていかねばならない。

「多様化、複雑化する専門業務を行うことに不安やリスクを抱えていました。しかし、クラウドに変えたことで、外部専門家の力をフルに活用できる体制になりました。いわば頼れる“社外人事部”ができたわけです」(越後氏)

給与業務は基礎的な業務のように見えるが、法令改正が多く、実は対応が難しいものだ。おまけにその専門性は年々高まっている。こうしたなかで、企業単体で給与業務を行うことへのリスクは大きい。とはいえ、社労士に給与計算を“丸投げ”するのは考えものだ。

「給与計算は労務管理の一環。計算は社労士が行うにしても、結果責任は企業にあるわけです。面倒な業務だからといって給与計算を社労士任せにせず、企業も積極的に関わっていき、給与計算を起点に労務管理を一緒に行える関係になるべきです。その関係づくりに役立つのが給与奉行クラウド。企業と外部専門家がリアルタイムにつながれるからです」(沖氏)

給与奉行クラウドは外部専門家に“丸投げ”するためのツールではない。企業と外部専門家がつながって、お互いの関係性を良好にし、確実な業務遂行を支える礎なのだ。

※掲載内容は取材当時のものです。担当者名、部署名、サービス内容等が変更になっている場合があります。あらかじめご了承ください。

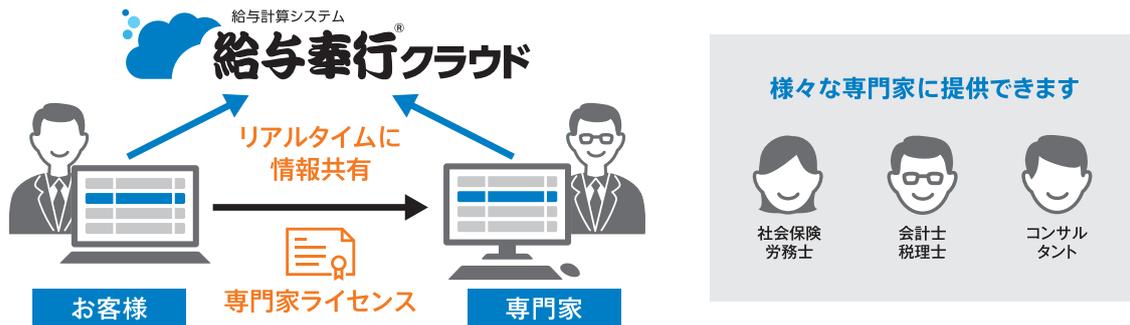
## 導入効果

紙やExcel、バックアップデータによるやりとりがなくなり業務時間を大幅に削減。  
専門家との協業体制が強化されたことで、労務や税務のリスクに備えられる体制が構築された。

- クラウドによって勤怠管理から給与計算、年末調整申告まで一気通貫でデジタル化でき、**従業員との紙のやりとりがなくなった**
- 専門家ライセンスを使うことで、企業と税理士・社労士がリアルタイムに**情報を共有しながら業務を同時並行できる環境が整った**
- 専門家とバックアップデータをやりとりする必要がなくなり、**最新データがわからなくなるリスクがなくなった**
- クラウド上で個人情報データが保管できるようになったことで、**セキュリティに対する不安や心理的負担がなくなった**
- 専門家の目によるチェック体制が築け、給与計算や税務計算における**ミスや誤りの発生を未然に防げるようになった**

# 給与奉行クラウドで 専門家とのやりとりをデジタル化し 連携体制を強化できます

専門家ライセンスを使うことで社外にいる専門家とつながり、最新の社員・給与データをリアルタイムに共有できます。専門家が常にデータをチェックすることで、支給・控除間違いによる労務リスクを未然に防止できます。



お客様はメールを送信するだけで、社外の専門家を簡単に招待することができます。専門家はメールを受け取ったその日から社員・給与データを閲覧・処理できるようになります。



例えば

## 社員情報を共有する 手間がなくなる

新しい社員が入社した際や、異動・退職に伴う社員情報の変更があった際にも、最新の社員情報をリアルタイムに共有できます。

最新の社員情報を  
リアルタイムに共有



例えば

## いつでも相談でき 疑問をすぐに解決

経験のない社会保険手続きや改正の多い年末調整手続き等で疑問や不安がある時は、同じ画面を見ながら専門家に相談でき、すぐに解決することができます。

同じ画面を  
見ながら会話



例えば

## 計算結果のチェックや業務 代行の依頼を即座にできる

データのやりとりをしなくても、給与計算結果のチェックや、社会保険手続きや年末調整業務の代行をすぐに依頼できるため、業務分担をスムーズに行えます。

専門家が直接  
チェック & 業務代行



## 企業プロフィール

### ジー・オー・ピー株式会社

所在地…東京都渋谷区広尾1-1-39  
 恵比寿プライムスクエア13階  
 総人員…87名(2019年8月現在)  
 URL…<http://www.gop.co.jp/>



1981年設立。建設用仮設資材の開発、製造およびレンタル、販売、ケータリングを手がける。「安全は人へのやさしさと、確かな品質から」をスローガンに、3つのZERO(事故ZERO・修理ZERO・滅失ZERO)を目指して個性的な建設用仮設資材を提供。グッドデザイン賞を数多く受賞するなど、高いデザイン性に定評がある。事業場は本社、東京都江東区新木場、千葉県東金市。

## 導入製品

給与奉行クラウド                      奉行Edge 勤怠管理クラウド                      奉行Edge 給与明細電子化クラウド  
 法定調書奉行クラウド                      奉行Edge 年末調整申告書クラウド

## 専門家プロフィール

### 新大和税理士法人

所在地…東京都港区虎ノ門12-1 虎ノ門第一法規ビル  
 URL…<https://shin-yamato.or.jp/>



Shin-Yamato Tax Corporation

新大和税理士法人

税務・会計業務代行のほか、法人設立や資産運用のコンサルティングなど、幅広い業務を手がける。金沢に本部を置き、東京、名古屋、津の各地区の拠点事務所と連携して全国展開。

### アウル社会保険労務士法人

所在地…東京都豊島区東池袋3-1-4  
 メゾンサンシャイン1006号  
 URL…<https://www.owl-mp.com/>



人事労務相談や就業規則作成のほか、経営コンサルティングも手がける。給与計算をはじめとした各種アウトソーシングも行う。



## オービックビジネスコンサルタント

URL <https://www.obc.co.jp>

〈東京〉〒163-6032 東京都新宿区西新宿6-8-1 住友不動産新宿オークタワー TEL.03(3342)1880(代) FAX.03(3342)1874  
 〈札幌〉〒060-0003 札幌市中央区北三条西4-1-1 日本生命札幌ビル10F TEL.011(221)8850(代) FAX.011(221)7310  
 〈仙台〉〒980-0811 仙台市青葉区一番町1-9-1 仙台トラストタワー20F TEL.022(215)7550(代) FAX.022(215)7558  
 〈関東〉〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町1-11-20 大宮JPビルディング12F TEL.048(657)3426(代) FAX.048(645)2424  
 〈横浜〉〒220-0011 横浜西区高島1-1-2 横浜三井ビルディング15F TEL.045(227)6470(代) FAX.045(227)6440  
 〈静岡〉〒420-0857 静岡市葵区御幸町11-30 エクセルワード静岡ビル5F TEL.054(254)5966(代) FAX.054(254)5933  
 〈金沢〉〒920-0853 金沢市本町1-5-2 リファール5F TEL.076(265)5411(代) FAX.076(265)7068  
 〈名古屋〉〒450-6325 名古屋市中村区名駅1-1-1 JPタワー名古屋25F TEL.052(589)8930(代) FAX.052(589)8939  
 〈大阪〉〒530-0018 大阪市北区小松原町2-4 大阪富国生命ビル23F TEL.06(6367)1101(代) FAX.06(6367)1102  
 〈広島〉〒730-0031 広島市中区紙屋町1-2-22 広島ランヴェールビルディング4F TEL.082(544)2430(代) FAX.082(541)2431  
 〈福岡〉〒812-0039 福岡市博多区冷泉町2-1 博多祇園M-SQUARE 9F TEL.092(263)6091(代) FAX.092(263)6099

販売代理店

※会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。※カタログに記載された内容および製品の仕様は改良のため、予告なしに変更することがあります。※本カタログの記載内容は2020年3月現在のものです。